

# 国税庁 酒類業振興関係予算

(令和6年度補正予算)15.9億円

(令和7年度当初予算)21.5億円

## 「伝統的酒造り」 ユネスコ登録関係

- 認知度向上  
(伝統的酒造り関係)

2.3億円



「伝統的酒造り」に関する国内外の認知度を高める

- ・新聞広告
- ・主要駅デジタルサイネージ広告
- ・機内シートモニター広告 (予定)



- ・国内外での各種プロモーションイベントの開催

2025大阪・関西万博の機会も活用  
日本酒造組合中央会、文化庁、外務省(在外公館)、JETRO等とも連携

## 認知度向上・販路拡大支援

- 酒類業振興支援事業費補助金

7.0億円

6.0億円

- ①ブランディングやインバウンドによる海外需要の開拓等、日本産酒類の海外展開に向けた取組を支援
- ②商品の差別化や販売手法の多様化による国内外の新市場開拓等の取組を支援

[取組例]



訪日外国人向け酒蔵ツアーリズムの取組



外国人を対象とした自社製品の試飲プロモーション



原料等を見直したセカンドブランドづくりに挑戦

- 認知度向上 (日本産酒類の魅力を発信)

2.8億円

9.3億円

- ・国際イベント等でのPR
- ・国際的な酒類教育機関の講師等、発信力を持つ関係者の国内招聘

- 販路拡大 (輸出拡大に向けたマッチング支援)

- ・海外大規模展示会への出展支援や海外輸出コーディネーター等による商談会の開催等
- ・酒類製造者と輸出卸・商社とのマッチングや海外販路開拓を支援する日本産酒類輸出促進コンソーシアムの運用
- ・輸出先国の消費者の嗜好や各種規制、販路開拓手法等に係る海外市場調査・情報収集



大規模展示会への出展支援  
(令和6年7月、バンコク)



国税局鑑定官(お酒の専門家)による技術相談への助言

- ・地理的表示(GI)のPR、活用促進
- ・商品の差別化・高付加価値化のための技術支援

- 酒類総研の機能強化  
(独)酒類総合研究所)

1.9億円

酒類の輸出に必要な証明書の発行体制、酒類の分析体制の強化等

- 清酒製造業近代化事業費等補助金 (日本酒造組合中央会)

厳しい経営環境も踏まえ、伝統的酒造りや万博の機会も活用し、経営の安定化を図る



日本酒フェアの開催



國酒の文化的な価値や魅力の発信につながる、国際空港國酒キャンペーン等の実施

1.9億円

6.2億円

## 原料米等高騰対策

- 信用保証事業 (日本酒造組合中央会)  
短期での運転資金の円滑な調達に係る支援措置を行うため、日本酒造組合中央会に造成済の基金による信用保証事業を活用(既存の基金残高を活用)

(注) この他に令和7年度予算において、(独)酒類総合研究所に対する運営費交付金(9.6億円)を措置(ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等)